

同窓生からの手紙

兵庫県出身。平成28(2016)年学校教育学部生活・健康系コース(家庭分野)を卒業後、加西市内の質茂幼児園で教諭として勤務。現在4歳児クラスの担任を務める。



よしだ あかり
吉田朱里さん
加西市立質茂幼児園教諭

実習で得た経験が 今に生きています

子

子どもの笑顔が大好き！卒業して、加西市内の園で働かせていただいてもうすぐ1年。新しいことの連続で新鮮な毎日ですが、子どもたちが「幼児園、楽しい！」「明日も行きたい！」と笑顔で園生活を送るにはどうすればよいかと日々悩むことばかりです。

そんなときは、学生時代に実習で学んだベテランの先生方の、泣いている子どもへの声の掛け方や関わり方、クラス活動の導入の方法等を思い出し、実践してみます。そして、子どもがバツと笑顔になったり喜んでくれたりしたとき、また、保護者の方が「喜んで園に行っています」と教えてくださるときに、実習で得た経験に感謝するとともに、幼稚園の先生になつて良かったと感じます。



←みんな大好き絵本の時間

LETTERS FROM OB & OG

徳島県出身。平成23(2011)年に修士課程幼児教育コースを修了。在学中はおやじの会について調査研究を行い、修了後も全国のおやじの会の人々と交流を持ちながら研究を続けている。28年4月から現職。



しみずけんじ
清水憲志さん
姫路市立中央保育所保育士

元気いっぱいの子どもたちと 共に笑い楽しく過ごしています



→子どもたちの表情を見ながら、抑揚をつけ、間を取りつつ絵本を読んでいます

保 育士として採用されて4年がたち、今年度は3歳児を担当しています。

在学中には同じ志を持つ院生の仲間と保育について語り、一つ一つの物事を探求していました。また、研究がきっかけで出会ったおやじの会の方々には、社会人としてのいろはや人と出会うことの面白さ、それぞれの得手不得手なことを仲間として支え、互いに高め合う姿も見せてもらいました。修了後も再会するたびに初心に帰らせてくれる大事な居場所。いろいろな仲間から、たくさん

ことを教えてもらいました。その経験を糧に、保育所では保護者とも積極的に関わり情報交換をしながら子どもへの育ちにとってより良い援助ができるように努めています。

子どもとの関わりは楽しいです。日々の忙しいや手立てがうまくいかず悩む時もありますが、子どもたちの笑顔に力をもらい、何気ない一言に笑い、表現する姿や友達とのやり取りの内容に「子どももつてすごい」と教えられています。保育者として子どもとの時間を大切に、関われる幸せを感じ大切に過ごしたいです。

▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学院同窓会会員と大学教員との共同研究の申請(募集要項を一部変更しています)

大学院修了生と大学教員とが共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。平成28(2016)年度は10件を採択しました。なお、今回から募集要項を一部変更し、新規の方が申請しやすいようにしています。詳しくは、Hyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。
◎申請締め切り 4月30日◎

教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦

大学院同窓会では教育実践研究に顕著な成果を挙げた修了生を表彰しています。今年度も受賞にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年8月の同窓会関東大会(東京都)で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。なお、昨年度から実施要項を一部変更し、幅広く推薦ができるようにしています。詳しくは、Hyokyo-net→都道府県連携推進本部を確認してください。
◎推薦締め切り 3月31日◎